



心も体も健康で笑顔あふれる学校づくり

幸手市立行幸小学校

本校は、令和5年度全国健康づくり推進学校優秀校の表彰をいただきました。これは、児童の健康の保持増進に向けた食育・保健指導・安全教育・体育・道徳・特別活動等の取組について評価をしていただいたものです。本誌では、その一端となる「食育」について紹介いたします。

①授業実践「すきらいなく食べよう」

身近な給食を教材として、児童が自らの食を見つめ直す活動を行いました。



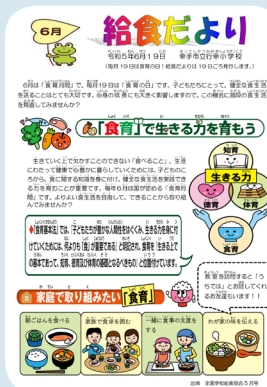
②食農教育の推進

地域の方の協力をいただきながら様々な食材を育て、収穫体験をしています。食のありがたさを実感し、食への関心を高めています。



③給食献立の工夫

児童が考えたパンや季節を感じる献立を計画的に提供しています。また、各地の郷土料理や世界の料理、本の読み聞かせなどをいかした献立の工夫もしています。



④地域・保護者への発信

毎月、給食だよりを発行するとともに、食への関心が広がるように給食のレシピをクックパッドから見られるようにしたり、配布したりしています。

株式会社ジョイフル本田との協定締結式



3月13日(水)に、株式会社ジョイフル本田と災害時における応急物資の優先供給及び駐車場の一時使用に関する協定を締結しました。

ご寄附をいただきました

3月14日(木)に、株式会社フレンドホーム様から「幸手市の子育て支援の充実を通して、活気あるまちにしたい」との思いが伝えられ、毎年継続的に寄附をいただくこととなりました。



いただいた寄附金については、より一層の子育て支援施策の充実のために使わせていただきます。

東日本電信電話株式会社との協定締結式



3月28日(木)に、東日本電信電話株式会社と災害時における通信障害復旧の連携及び防災・危機管理業務のデジタル活用に向けた共同検討に関する協定締結式を行いました。



庁内窓口防犯訓練

3月28日(木)に、幸手市役所本庁舎1階納税課前にて、幸手地区暴力排除推進協議会・幸手警察署の協力のもと、職員の防犯意識を高め、職員および来庁者の安全・安心を確保することを目的とした庁内窓口防犯訓練を行いました。

職員に対して凶器を突き付けたという想定で、「犯人の説得」「110番通報」「刺股を用いた対応」「周囲の安全確認」「避難誘導」など一連の模擬訓練を行いました。



第2回幸手市庁舎の在り方について考える市民ワークショップ

3月30日(土)に、幸手市庁舎整備基本構想の策定を進めるにあたり、市の課題などを整理するため、「新庁舎のアイデアをみんなで考える」をテーマとし、ワークショップを開催しました。

ワークショップには44人が参加し、今まで知らなかったことや解決したいこと、新庁舎に必要なことなどについてグループで話し合いました。グループワークでは活発な意見交換が行われ、たくさんの貴重な意見をいただくことができました。



若草俳句会
今月の季題「余寒」
および自由題

補聴器に

風音響く余寒かな

田村千秋・さいたま市南区

針穴に

糸の通らぬ余寒かな

吉羽安子・幸手市外国府間

余寒なほ

術後五年や大腸癌

進藤洋二郎・幸手市緑台

早朝の

靴底にある余寒かな

知久和子・五霞町川妻

雲厚く

灯油買い増す余寒かな

吉成誠介・幸手市香日向

ハミングで

歌詞を補うひな祭り

日下部よしえ・幸手市横野地

すれ違ふ

女子学生や春の風

永田民子・幸手市南

療原短歌会

リビングの

皆のスマホが

一斉に

地震発生を

知らせて響く

中村孝子・南三

人は花

わが身の回りに

咲き満ちて

われを励ます

陰に日向に

長下部圭作・東五

あくがれの

ころ抱きて

積む雪の

春の夕べの

音なき世界

尾上喜子・栄六

しんしんと

降りくる雪は

音もなく

「過去をば連れ来て

心遊ばず」

大熊昭子・東五